

東京都立 多摩総合医療センター



地域医療連携の推進に向けて

国分寺市医師会
会長 藤巻 正樹

□ 頃は国分寺市医師会会員から紹介させて頂いた患者さんを快く診て頂き大変感謝申し上げます。

国分寺市はJR中央線の国分寺、西国分寺、国立にわたって横に広がる地域で、人口12万人の自治体です。その中で当医師会は、会員130人余り、医療機関100余りで構成され、多摩総合医療センターを始めとして災害医療センター、立川共済病院、公立昭和病院等と医療連携を結ばせて頂いております。日常診療において、貴センターのような信頼できる医療機関が背後に控えてくれることはとても心強く安心できます。紹介を必要とする際に患者さんに尋ねると、半数以上の方は貴センターを希望されます。これは、国分寺市民にとってアクセスが良いというだけでなく、府中病院時代から築かれた親近感と信頼感が今も変わりなく維持されているからです。平成22年3月、名称を「東京都立多摩総合医療センター」と改称し、新病棟に移転開設された際には、ハード面の充実に伴い敷居が高く受診しにくい病院になるのではと懸念しましたが、その考えは外れました。院内で働く医師、職員の方々のご努力で旧府中病院時代より私たちにとって身近な病院になってきています。

貴センターでは府中病院の頃より地域医療連携には力を注いで頂き、紹介、逆紹介、医療機器の共同利用、連携講演会など推し進めてこられました。また以前より年一回、病院と地区医師会の担当理事との医療連携の会が持たれていましたが、その輪を一般会員にも広げて頂けないかとお願いしたことがありました。それに応えて頂いたのが、今年9月に第1回連携医交流会が開催されました。今回は最初であり十分な時間も無く議論は尽し切れませんでした。今後もこの会が継続されて医療連携がより緊密になっていくことを願っています。

日常の診療では、緊急性は即日ほど強くはないが、一週間は待てない状態の患者さんを診て頂きたいことがよくあります。最近はFAXの導入などで以前より改善されましたが、このようなケースにおいてより円滑に対応して頂けることを改めてお願い致します。紹介状のお返事はいつも詳細に記載されており、多忙な診療の中で作成して頂き有難うございます。その診療情報により患者さんの病態を把握し、臨床医としての眼を養うことができると考えておりますので、今後ともこれまで通り宜しくお願い致します。

この10月に貴センターは「地域医療支援病院」の承認を受けられました。これは取りも直さず地域医療の推進に貴センターがより本腰を入れて取り組んで頂けるものと解釈致します。今後も、国分寺市民を含めた多摩地区400万人の健康と医療の安心のために、多摩地域の中核病院としての役割を果たしていかれるものと大いに期待しております。

これからも各種の会合を通して顔の見える医療連携の推進を望んでおりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。



TOKYO 2020

祝 開催都市決定!

2020年 オリンピック・パラリンピック招致への
応援ありがとうございました!



産婦人科のご案内



産婦人科部長 光山 聡

府中病院時代は、婦人科悪性腫瘍を中心とした婦人科診療と一般産科診療を行ってきました。2010年春、多摩総合医療センター移転時に総合周産期母子医療センターが開設され、産科診療はそれまでの診療内容とはかなり違ったものとなりました。開設から3年半が経ち、皆さまのご支援にて診療も「巡航飛行」状態になりました。昨年はスタッフ数が少なく、婦人科初診枠等でご迷惑をおかけしましたが、現在はスタッフ18名が診療に従事し、若手医師も多く活気に溢れております。

●婦人科

1次医療施設・2次医療施設の先生方から、手術・治療目的にて多くの婦人科良性腫瘍・悪性腫瘍患者さんをご紹介頂いております。昨年度の婦人科手術件数は661件でした。良性腫瘍は、子宮筋腫、卵巣嚢腫や子宮脱、膀胱脱等多岐にわたります。婦人科悪性腫瘍治療においては、当院は日本婦人科腫瘍修練施設として専門医の育成に努めております。昨年度は子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌の手術症例数はほぼ同数でした。進行子宮頸癌（特に頸部腺癌）・体癌では、診療放射線科医師の協力を得て術前動注療法を行った後に手術を施行しています。また子宮頸部扁平上皮癌は化学療法併用放射線療法を施行しています。化学療法併用放射線療法は、当科で癌化学療法を施行しつつ、診療放射線科にて放射線療法を施行するものであり、良好な成績を得ています。本年度は診療放射線科にて新しいRALS装置の導入が予定されており、今後の治療への貢献が期待されます。手術療法後に癌化学療法が必要な患者さんも多く、外来化学療法センターを中心に化学療法を行い、治療のサポートを行っております。

●産科

小児総合医療センターNICU（24床）、GCU（48床）と連携した形で総合周産期母子医療センターの指定を受けています。多摩地区の総合周産期母子医療センターは杏林大学と当院の2施設のみであり、多摩地区の周産期医療を担った3次基幹病院としての役割を担っており、ハイリスク妊婦・褥婦を、母体搬送やハイリスク妊娠初診外来へご紹介頂いております。2011年2月には東京都から母体救命対応総合周産期母子医療センター（スーパー総合周産期センター）に指定され、当番日には各科の協力下に責務を果たすべく努めております。当番日でない日においても直近の救急対応病院として、重症患者さんを受け入れています。また精神疾患合併妊娠、神経内科疾患合併妊娠、結核合併妊娠等の症例についても関係各科と連携して診療しております。

●患者さんご紹介方法について

先日「患者さんを紹介しようと思うが紹介の仕方がわからない」というご意見を頂きました。この紙面にてご紹介頂く際の手順を述べさせていただきます。

* 婦人科・・・患者さんご自身にて予約センターへ電話して頂くか、またはお手数ですが先生から医療連携係へご連絡をお願いします。お急ぎの場合で、かつ数日の猶予があるようでしたら、医療連携緊急枠として予約を取らせて頂きます。また緊急の治療が必要な場合は、当院代表電話にお電話頂き「婦人科の救急担当へ」とお申し付け頂ければ、ER当番が対応いたします。

* 産科・・・ハイリスク妊婦さんについては医療連携係にご連絡下さい。近々での予約が必要な場合は医療連携係より、その日の周産期責任番に電話をお回しいたします。周産期当番は周産期PHSという専用のPHSを携帯しております。当日の診療が必要な場合は、当院代表電話より周産期責任番にお電話ください。またスーパー母体救命に該当する症例については、まず最初に119番にご連絡ください。

地域の先生方に支えられて、多摩総合医療センター 産婦人科があります。当院に紹介して良かったと思って頂けるよう、今後も診療の質の向上に努めたいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

平成24年度

全婦人科手術件数	661件
良性疾患	472件
悪性疾患	189件
子宮頸癌	59件
子宮体癌	63件
卵巣癌	67件
化学療法併用放射線療法(手術なし)件数	13件
分娩件数	1,315件
経産分娩	835件
帝王切開術	483件
予定	203件
緊急	280件

内訳には双胎妊娠で第一児＝経産分娩、第二児＝帝王切開術分娩 あり
その他産科手術(子宮頸管縫縮術、子宮外妊娠手術等)＝87件



産婦人科スタッフ



膵石による閉塞性黄疸を来し、内視鏡的治療が有用であった一例



消化器内科医員 吉野 耕平

【症例】73歳、女性

【主訴】黄疸、食思不振

【既往歴】高血圧、橋本病、S状結腸癌術後

【現病歴】皮膚黄染・食思不振を自覚し近医を受診した。採血にて黄疸・肝胆道系酵素上昇を認め腹部エコーにて総胆管・肝内胆管の拡張を認めた。閉塞性黄疸の診断となり当科紹介、同日より緊急入院となった。

【入院時身体所見】体温36.6度、血圧117/62mmHg、脈拍94/分
腹部は平坦・軟、圧痛認めず

【入院時検査所見】WBC 3800/μl、CRP 1.18mg/dl、T-bil 1.1mg/dl、D-bil 0.7mg/dl、AST 97IU/L、ALT 146IU/L、ALP 2022 IU/L、γ-GTP 1185 IU/L、AMY 119IU/L

腹部エコー（図1）：膵頭部膵管内に11mm大の境界明瞭な高echo腫瘤を認め、膵石と考える。尾側膵管の拡張を認める。

腹部造影CT（図2）：膵頭部膵管は8mmと拡張し内部に10mm大の結石を認める。

総胆管は膵石により圧排され、上流の総胆管・肝内胆管の拡張を認める総胆管や胆嚢に明らかな結石は認めない。

【治療経過】

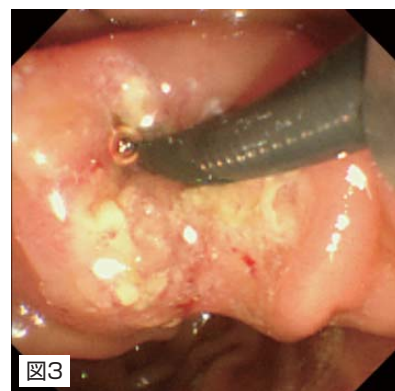
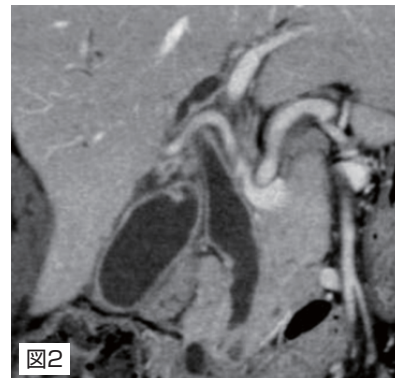
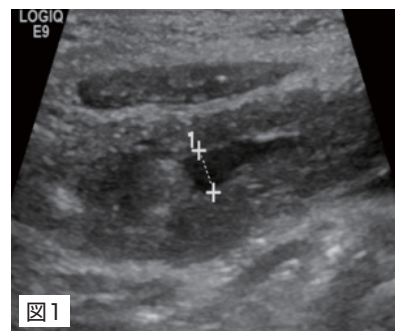
膵石の乳頭部嵌頓による閉塞性黄疸と考えた。内視鏡的膵胆管逆行造影（ERCP）では、頭部主膵管内に10mm大の陰影欠損を1個認めたが総胆管結石はなかった。

内視鏡的膵管口切開術を施行した後にバスケットカテーテルを用いて膵管を搔き出すと、白色の結石が採石された（図3）。

術後経過は良好で黄疸は軽快し、胆管拡張・膵管拡張も改善を認めた。

【考察】

本症例のように、膵石により胆道閉塞を来すことは極めて稀であり、医学中央雑誌では14例が報告されているのみであった。結石の大きさは平均径11mm（5～20mm）と報告されており、結石が大きいほど持続的な胆管の閉塞を来しやすいといわれている。以前は外科的治療が行われていたが、最近の内視鏡的治療が主流であり、良好な経過を得ている報告が多い。



都立多摩総合医療センター ● 人事異動

【退職】平成25年8月31日付

産婦人科医員

石井 加奈子

【転出】平成25年10月1日付

整形外科医長

牛田 正宏

【採用】平成25年9月1日付

救急科部長

清水 敬樹

【採用】平成25年10月1日付

整形外科医員

豊岡 青海

【退職】平成25年9月30日付

脳神経外科医長

小倉 丈司

産婦人科医員

内藤 未帆

産婦人科医員

三輪 玲亜

耳鼻咽喉科医員

白石 藍子

麻酔科医員

三井 裕介



地域医療支援病院に承認されました.....

当院は本年10月に、紹介患者への医療提供や医療機器の共同利用などにより、地域のかかりつけ医を支援する「地域医療支援病院」として、東京都から承認されました。

当院はこれまで、地域医療機関の皆様のご協力のもと、地域医療連携を推進してまいりましたが、多摩地域における中核病院として、これまで以上に地域医療機関との連携強化に努め、紹介・逆紹介や共同利用などをより一層推進してまいります。

今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

各種講習会・勉強会のご案内(医療従事者向け)

医療連携臨床懇話会

平成26年2月6日(木) 午後7時～午後9時 都立多摩総合医療センター講堂フォレスト

- 「総合内科について」(仮称) 総合内科部長 西田 賢司
- 「上気道炎について」(仮称) 救急科医長 本田 仁

(詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。)

各種講習会・勉強会のご案内(患者さん向け)

※参加無料、事前予約不要です

糖尿病講習会 (会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト)

- 「糖尿病とインスリン」「インスリン製剤の管理」「年末年始の食生活」
日時：平成25年12月18日(水) 午後2時から午後4時
- 「糖尿病と脳梗塞」「尿検査」「脳梗塞予防の食事管理」
日時：平成26年1月15日(水) 午後2時から午後4時
- 「糖尿病と心臓」「心電図について」「糖尿病の運動療法」
日時：平成26年2月19日(水) 午後2時から午後4時
- 「糖尿病神経障害」「フットケアについて」「食事の自己評価方法」
日時：平成26年3月19日(水) 午後2時から午後4時

当院は原則として、**紹介予約制**です。
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、
紹介状をお願い致します。

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9200

ご意見、ご投稿、お問い合わせは
医療連携係(遠藤・高橋 内線2171)まで

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9205

緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

※一部の診療科では、夜間専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しく下さい。

東京都立多摩総合医療センター 〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29
TEL 042-323-5111(代表)

